

# 講演「硝子の旨み」

<2>

サン・ウインド  
トヨー住器社長 高橋秀直氏

窓業界のオンライン始まつた六年前から、企業として活躍するサンウインドトヨー住器（本社・京都府宇治市 横島町中川原五二番地）

・高橋秀直社長とのインタビューの二回目。前回はガラス業界に飛び込んだ経緯からリフォーム業に転身するまでの話を掲載した。今回は、先月京都府板硝子商工業協同組合での氏の講演内容（テーマ：硝子の旨み・恵まれた業界、豊かな市場）を中心紹介することにする（四面参照）。

当社は、防犯ブームの

入られた後の事後処

に疑問を感じていまし

た。入られた後の事後処

ア

理より、入られる前の予想よりもこれまで業界のいろいろな人にインタビューを要は、ガラス・鍵を販売してきました。また、得意先の営業マンからは、当社に頼めばガラス一枚だけの仕事が、家丸ごとの百万円の仕事に化けさせてくれるとい評判になり、各イベント、防犯セミナーに引っ張り出される事となりました。

結果、そのスタンスや防犯知識など、的を射たアドバイスが評価され、もし何かあればガラスの修理依頼でなく、防犯対策の相談依頼という形で定着しました。



講演する高橋秀直社長

## 侵入手口アイル作成

### 入られる前の予知防犯提案

異化が図れると確信しました。

が、あれば、片っ端から出させていただいたが、前売しようとするのではなく

向き合っていった。向きていたが、前売しようとするのではなく

した。

実は以前より、泥棒に

いたが、前売しようとするのではなく

した。

また、侵入被害にあつところは、必ずといって心理をご理解いただき

く、お客様に侵入手口、ただ今思えばそのところ

した。

向きていたが、前売しようとするのではなく

いたが、前売しようとするのではなく

した。

た現場での写真撮影をさよいほど、大量の書籍をて、その上でお客様の正なり、価格交渉から脱却せていたとき、防犯データー読んで情報収集を図つていい判断を取り入れた防

できただけになりま

した（次号に続く）。

から価格の交渉は少なく

いたが、前売しようとするのではなく

した。